

カレッジ通信

編集・発行
東京建築カレッジ

授業見学
大歓迎!

TEL 03
(5950)
1771

2022年度 第1回 OJT 報告会 現場で経験したこと・学んだことを伝える授業

東京建築カレッジには、コミュニケーション力を磨く授業もあります。年3回実施する「OJT(現場実習)報告会」です。カレッジの入学生はみんな建築従事者。現場の体験を記録したレポートを毎月提出させる一方、共に学ぶ仲間や先生方に向けて、現場で学んだこと、失敗したこと、これから挑戦したいことを報告しあう場がOJT報告会です。コミュニケーション力に優れた自立できる職人を育てるために行っています。



経験したことや自分の意見をわかりやすく伝えられるようになるための実践学習

掃除には意味がある

7月30日(土)池袋校舎で行われた2022年度 第1回OJT報告会では、1年生(27期生)5人、2年生(26期生)4人が全体会で、自分の職場と仕事の概要、経験したこと、学んだことを報告しました。

「(建築の仕事は)朝が早い。何もかもが初めてで戸惑う」、「担当業務は幅広く厳しいが、経験できることがたくさんあり勉強になる」、「報告・連絡・相談の大切さを叩き込まれている」など、苦勞しながらも与えられた仕事をこなそうと頑張っている姿を感じさせてくれました。「なぜ、掃除が大切か。理由を考えてみた」と、お客様とのコミュニケーションやKY(危険予知)に役立つことを解説してくれた研修生もいました。

過酷な実態も出し合う

後半は4会場に分かれて分散会です。司会、記録、報告を2年生が務め、全員が発言できるように運営します。1年生、2年生が互いの状況を交流する貴重な機会です。

仲間との出会いが待っています!

第28期生(来年4月入学生)募集中



学校紹介、
募集要項は
こちらから
↓



2021年度、第26期生(1年生)の授業から

第23回公開講座 卒業生出演者決まる



写真 上から、3期 佐藤安紀子さん(設計)、3期山中辰也さん(大工)、12期 吉澤延彦さん(大工・施工管理)、24期 新田幸士さん(不動産)



全員が、自分の職場のこと、なぜ建築カレッジで研修を受けることになったのか、経験したことを発言します。「配管作業で掘った深い穴に頭から落ちた。ヘルメットをかぶっていたら死んでいたかも」など労働安全上の気づきや、新人に達成感を感じてもらうために業務指示の内容を工夫している職場の報告がある一方で、「同い年の大学生は楽に生きてるだろう

な、と思う時がある」「若者が大切にされていない」「仕事が忙しくて趣味の時間がなくなった」「すぐに暴力をふるう先輩がいる」といった過酷な実態も出されました。

まとめの中で、渡辺義久理事長は「掃除のプラズマイメージを複数の人が発言したのが印象的」と述べ、小林謙二校長は「若者の働く環境を良くするために、本校母体の東京土建の活動が重要だ」と強調しました。

「材料実験」では「結果レポート」指導を厳しく

1年生の授業から



東京建築カレッジの授業は学科と実技、フィールドワークと、それぞれ多彩です。これまで建築の専門教育を受けたことがない人でも集中して建築の基礎を学ぶことができます。

自分のプランを形に(住宅設計)

2年生の授業から



斜線制限チェック。法規制によるデザインの制約も学びます。

圧縮、引っ張り実験で確かめます。コンクリートは調査設計から学び、自分たちで製作します。実験で得た結果の正確な記録、定型的な科学レポートを完成させることも求めます。コンクリートを作

るために必要な材料(セメント・砂・砂利・水)以外のものを入れると、強度はどのように変化するか、木の強度は継手の形や加工の精度で違いは出るか、などゲーム感覚で楽しみながら物性を確かめます。



オリジナル継手強度実験

の汚れの有無、漢字が書いているか、から指導します。他人に見せる報告書ですから当然です」。

東京建築カレッジには住宅設計の授業もあります。世田谷区内の第一種低層住居専用地域の約78坪の敷地で生活することになった住人のために、どのような住まいをつくるのか、自由設計、最終的には50分の1サイズの模型を完成させ、設計の意図をプレゼンテーションさせる授業です。1年生の授業で、

パートナー事業所35社に

東京建築カレッジの2年間の教育を新入社員教育に導入する会社が増えています。6月以降、(株)国工務店(江戸川区)、(株)マルハウジングサービス(江東区、丸山工務店グループ)、(株)辰建(文京区)がカレッジ無料職業紹介所登録事業所となり、パートナーは35社になりました。昨年8月1日時点から9社増です。登録事業所は学費等を会社負担で勤務時間中の職業訓練として社員を研修派遣することを誓約しています。各社は新規学卒や転職者向けの採用活動が有利なることを期待しています。

「新人の育成」テーマに研修会

東京建築カレッジは9月11日(日)、「けんせつプラザ東京」(東京土建本部会館)で、研修生派遣事業所と講師・指導員合同の研修会を行います。カレッジ生の育成・定着がテーマです。

昨年、JBN・全国工務店協会など7団体が全国的に実施した社員大工の実態調査の結果について、蟹澤宏剛芝浦工業大学建築学科教授の講演を受けた後、建築の仕事に就いてまもないカレッジ生への指導のあり方や、コミュニケーションの課題を語り合います。



蟹澤宏剛 芝浦工大教授

参加対象は、研修生派遣事業所、カレッジ職業紹介所登録事業所、カレッジ講師・指導員ですが、テーマに関心のある東京土建(本校の母体)の関係者も参加できます(事前申込制)。



手作りいかだで、スピードとデザイン、アイデアを競いました。

7月24日行われた「狛江古代カッパ多摩川いかだレース」(全87チーム)に、本校の母体、東京土建の狛江支部青年部が出場、2年生の幸野歳丸さんが参加しました。「大変だったけれど楽しかった」と幸野さん。